

8月定例教育委員会 会議録

日	時	平成30年8月8日(水) 午前9時30分～午前10時20分									
場	所	甲府市役所 9階 会議室9-2									
出 席 委 員	小林教育長・小宮山職務代理者・原委員・堀委員・市川委員										
出席事務局職員	嶋田教育部長・饗場教育総室長・山本生涯学習室長(生涯学習課長兼任)・星野総務課長・松田学校教育課長・宮川学事課長・照沼教育施設課長・本田甲府商業高等学校事務長・碓井甲府商科専門学校事務長・田中歴史文化財課長・小林スポーツ課長、本田図書館長・芦川総務課課長補佐・宮川総務課課長補佐・保坂総務課主任										
傍 聴 人	1名										
署 名 委 員											
委 員 会 書 記											
・教育委員あいさつ											
・会議録署名委員の指名 市川委員											
・7月定例会及び臨時会会議録の承認 原案のとおり承認											
<table style="margin: auto; border: none;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小林</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">堀</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">小宮山</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市川</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">原</td> <td></td> </tr> </table>			小林			堀	小宮山		市川	原	
小林											
堀	小宮山										
市川	原										
<p>1 開会</p> <p>小林教育長</p> <p>これより8月定例教育委員会を開会します。</p> <p>(1) 教育委員あいさつ</p> <p>市川委員</p> <p>皆様おはようございます。いつになく極端な気候がこのところ続いておりまして、大きな災害がもたらされました大雨、あるいは連日35度を超えるような暑さ、7月末には甲府でも40度を越えたというような天気が続いています。雨で言いますと、この間私の住んでいる地域では避難勧告が出まして少し焦ったということがありました。他県では小学生が熱中症で亡くなるというような事故があったこともあり、熱中症が非常に心配されている中、熱中症で搬送された人が既に昨年度を上回っている状況だと聞いております。甲府の小学生は幸いにも夏休みに入っておりますのでとりあえず一段落というわけですが、プールを開設できないとか、あるいは学校のプールが開設されていないので他のところプールに行く途中に熱中症で倒れた小学生が出るなど、色々なことが起こっています。これで夏休みが明けますと今度は学園祭、運動会でまた熱中症の</p>											

心配をしなければいけないというような状況なのですが、こういったことが起こるのも我々人間の生活の仕方に原因があるのではないかと、というようなことが言われて久しいわけですが、今日は機会を得ましたので私達のちょっとしたことが色々なところで影響を及ぼしているということを日頃感じているところございますので、そんなことを少しお話しさせていただければと思います。

実は私は自分が小学校へ入ってから50年以上夏休みのある生活をしておりました。退職して夏休みがなくなってしまったので、夏休みという区切りがなくなってしまったことがなんとなく違和感がありまして、周りからはご安気なものだなと笑われてしまうのですが、ここ3年くらい少しこの時期変な感じで過ごしているところがあります。

みなさんも子どもの頃に夏休みを経験されて、男の方は大体夏休みの思い出というとカブトムシとかクワガタムシの思い出があるのかなあと考えています。カブトムシとクワガタムシは昆虫の中では甲虫という仲間になっていて、これは分類上甲虫目と言うそうです。甲虫というのは世界の昆虫の約4割を占めています。甲虫がどんな虫かと言うと、虫は頭、胸、腹と体が分かれていて、その腹の部分の背中に硬い前羽根があって、飛ぶ時はその下にある薄い後ろ羽というのを使って飛ぶという特徴を持った虫のことを言い、世界ではおよそ30万種類、日本でもおよそ8千種類くらいが知られています。

日本ではカブトムシは4種類います。沖縄の方にはサイカブトというカブトムシがいて、このあたりでも稀に見るコカブトというカブトムシがいます。あとはクロマルコガネというのがありますが、カブトムシは実はコガネムシの仲間になりますので、そんな風になっています。

クワガタは学者によって分類上の意見が違っていますので何種類いるかははっきり言えないのですが、20種類以上います。我々が知っている有名なものとノコギリクワガタ、コクワガタとかミヤマクワガタ、ちょっと珍しいものだとオオクワガタということになるわけです。クワガタにしてもカブトムシにしてもいわゆる完全変態です。卵から幼虫になってさなぎになって成虫になる、こういう過程をとる虫なのですが、幼虫の時代がカブトムシとクワガタムシは違ってまして、カブトムシはどちらかというと枯れた木や木の葉が腐朽した土に近いものを食べます。クワガタは枯れた木そのものを食べ、基本的には生きている木は食べません。そして成虫になりますと、カブトムシもクワガタムシもそれ以上大きくなりません。エビとかカニなんかは脱皮して大きくなりますが、甲虫の類は幼虫に時にどれだけ大きくなっているかによって成虫のサイズが決まってしまうという特徴があります。

20数年前に80ミリくらいのオオクワガタが何百万円もするような昆虫ブームが起きた時に、日本の国内にいるものと近縁のもの、あるいは全然日本の国内にはいない昆虫が東南アジア、インド、台湾、中国、オーストラリア等の外国から輸入されてきました。輸入された当初は凄いプレミアがついたのですが、最近ではもう落ち着いて数千円で手に入ることが多いのですが、こういうことが起きるとお決まりの問題が起こるのです。みなさんもテレビなんかで取り上げられているのでご承知かと思うのですが、外来種の問題です。同じ外来種でも例えばブラックバスは日本で適した生息域を占有して、日本の固有種を食べたりしてそれがいなくなるというような影響を与えるので、ある意味わかりやすいのです。しかし、クワガタの場合はちょっとわかりにくいのです。どうわかりにくいかというと、東南アジア等から輸入した虫というのは基本的に暖かいところにいる虫ですから、例えば飼育しているのをうっかり逃がしてしまったり、もういらないとはいってしまっても、日本で外に出ても冬を越せないから影響ないのではないかと思います。

すよね。それは確かにそうなのですが、実はその冬を越せなくなる前に日本の近縁種と雑種と作ってしまうのです。日本の虫も東南アジアの虫も基本的に同じ種類のものがありますので、簡単に混雑してしまいます。そして形体は大きく変わりません。例えば日本にいるオオクワガタと中国にいるオオクワガタが雑種を作ってしまうても変な格好になるわけではなく、オオクワガタの格好をしているので見分けがつかないのですが、実は遺伝的には全く別のものになっているのです。そしてそれは日本の虫の性質を獲得しているのです、冬を越せるわけです。そうするとまたそれが日本の在来種と雑種を作るというのが起きてきて、遺伝的には全く別の種類のものができてしまうということが起きてしまうのです。

なぜそんなことが心配なのかと言うと、実は虫というのは狭い範囲でそれぞれがその地域に特化して進化しているので微妙に形が違うのが全部崩れてしまうということに繋がっていくからです。見た目は日本のものなのに、8割方外国の遺伝子を持った虫だったりして見分けがつかないのです。高だか虫なので大したことではないように感じられますけど、少し怖い事態が起きているという実態があるというように聞いています。

実は山梨県はオオクワガタですごく有名なところなのです。特に韮崎市の穂坂というところはオオクワガタの聖地と言われているくらいマニアの中では有名で、穂坂産のオオクワガタというプレミアムがつくような産地なのですが、日本の中にもそういった産地があって、産地ごとに特色を持ったオオクワガタがいるのです。だから私は個人的には大げさかもしれないですけど、韮崎の虫を東京へ持っていくっていうのはどうかなのかな、という気は少ししています。よく見てみると同じ山梨県でも韮崎の虫と塩山の虫は違うのです。そういう風に地域変異というのがありますので、そういったことがこれからどうなっていくのか少し心配になっています。

国内では交通手段などが発達して広域化が進んで、世界的にはグローバル化が進んでいて、色々な地域の珍しい物、変わったものが手に入りやすくなっています。しかもそれほど高くない、普通に働いている人なら手が出るくらいの範囲でそういったものが手に入るようになってきています。それはそれで社会としては楽しくて、色々な意味で良い社会ではないかと思うのですが、なんかこう大事にしなきゃいけないものが失われていくような気がしています。

私の住んでいる地域に神社がありまして、3月に弁天池という池を復活させました。7月に始めにマコモという藻がそこで増えすぎてしまったので一回水を抜いてマコモを取り除く作業をしたところ、ヤゴとか色々な虫とかがいっぱいいるようになったわけですが、ところがそこにもうブルーギルがいたのですよ。池ができて4ヶ月ですよ。こういうことって起きるのだなあと思ったわけです。

私は特に自然保護ということに対して一生懸命旗を振って運動をしているというわけではないですけど、我々の知らないところで密かに何かが進んでいるというのはあまり良い気持ちはしないなあと思ったところでもあります。時にはそんなことにも感心を持ってもらえたらいいのかなあと思ってお話をさせていただきました。ありがとうございました。

(2) 会議録署名委員の指名

小林教育長

会議録の署名委員は、市川委員を指名します。

(3) 前回会議録の承認

小林教育長

前回の議事録についてですけど、7月11日の定例会、7月31日の臨時会、この会議録は事前に配布されていると思いますけども、それについて何かご意見ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

では承認いたしました。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

小林教育長

議題 第14号 教育委員会活動の点検及び評価報告書について 資料に基づきまして、星野総務課長より説明をお願いします。

(星野総務課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

小宮山職務代理者

質問というほどのことではないのですが、教育部全体の施策の中で私は生涯学習というのがこれから退職する方が多くなってくるので、人生において自分自身が甲府市に住んで良かったとか、あるいは日々充実した生活を送るためには非常に重要なものになってくると思っています。この外部評価のところにありますように定量的な評価をするということは、生涯学習の場合は個人個人の問題であるため、どのような成果があったかを数値としては把握しにくいと思います。

結論としては、市の関係者の方が常に幅広く市民の要望を聞きながらそれに応えていくことの方が重要かなと思います。例えばテレビで視聴率が1%とか2%というものがあっても、特定の分野について非常に思い入れのある方については、よりその知識を深めることができ、その方々がまた広めていくというような二次的な効果もあると思います。

定量的な評価をということを書かれるとなんらかの対応をしなければいけないというようなことだと思いますが、現時点でこれについて生涯学習課で考えがあるのならばお聞きしたいと思います。

山本生涯学習室長

私も同感で、今委員さんがおっしゃられたとおり、生涯学習が定量的な評価になっているという厳しい現状がございます。そうした中で、色々なイベントや事業を行う際には私どもの方で参加者アンケートというものを取っており、そのアンケートを参考にしながら翌年度に向けて改善するところは改善し、また、あまり評判が良くないものはスクラップにしていけることが重要なことだと思っています。

例えばなのですが「こどもの日演奏会」を5月に開催させていただきまして、非常にたくさんお子さんたちや、親御さんやおじいちゃんおばあちゃん等が来ていただいて、本当に良いイベントでございました。私どもが開催するイベントの中で、色々な人が何かをやるのですが、それに対して「その人を見たい」とか「応援したい」という風に思えるイベントを開催していくことが今後すごく必要なのではないかと思っております。「きょういくの日コンサート」というのを12月に開催するのですが、それについては今月から小学校1年生から中学生までの方を集めて、申し込みをして、12月のコンサートに向けて月に1回練習をして、その成果を発表するものでありまして、こども達の積み重ねということで作ったこの事業を今後検証しながら実施をしていきたいと思っています。また、お子さんだけではなく高齢者の方についても色々な事業を公民館や生涯学習係で開催していきまして、公民館では社会教育指導員が地域の方と触れ合いながら色々な学級を立ち上げ、地域に根付いた色々な事業を毎年やっております。数字的にはそれほど増減はありませんが、人口減少や少子高齢化ということを考えると決して悪い数字ではないと私は思っていますので、今後しっかりと地域の情報を把握しながらやっていきたいという風に思っております。

小宮山職務代理者

参加者が多い少ないということで行政的には評価しやすく、また、してしまうということがありますが、生涯学習事業とか文化事業というのは心の問題であって、学校教育のように点数で成果が出てくるものではないので、定量的な評価というものは馴染まないと思います。また、伝統的な文化等のニーズをどう掴むのかということも必要ですけど、ニーズというのは特定の人の意見が入ってくるので、私としては市の関係者が常に情報収集をして主体的にやっていった方が幅広く掘り起こしていけるのかなと思っています。

生涯学習事業は不特定多数の方が集まる場所が良いのですが、文化事業はこれをして何十年という方が多いので、なかなかそこへ若い方が入っていくということは難しいので、その部分の改革をして、より多くの方が楽しめるようにしていくことが必要なのではないかと私としては感じています。以上です。

小林教育長

関連してその他にありますか。

市川委員

感想みたいになってしまいますが、市民のニーズを把握してそれに対応した形で事業を展開していくというのは理屈としては非常にわかるのですが、人数だけでいいのかというような気が少しして、生涯にわたってこれだけは絶対に大切にしなければいけないと思われるものはたとえニーズが少なくても辛抱強く続けていくというような発想も必要なのではないかなと、今の話を聞きながら感じました。

小林教育長

他によろしいでしょうか。

本当にニーズが多様化する中で何を中心にしていくか大変難しい課題ではありますけど、是非

よろしくお願ひします。
他にはございませんか。

原委員

サポートティーチャー事業なのですが、これは各学校の授業に大学生がお手伝いに来ている事業のことなのでしょうか。毎年教育視察に行かせていただいています、特に今年行ったところで目立っていたのでお聞きしたいです。

松田学校教育課長

サポートティーチャー事業につきましては、委員さんにご指摘いただきました、主に学生さんや地域の教員OBにご協力いただいている教育支援ボランティアと、それ以外にも各学校に概ね1人ずつ配置されている特別支援教育支援員と、外国籍や日本語が不十分な子ども達のための日本語指導員の大きく分けて3つのものがこの中に含まれています。

原委員

今年伺った学校で先生方から学生さんに大変有効的な活動をしていただけるということをお聞きしました。また、学生さん自身も教育実習以外にコンスタントに子どもと触れ合うことができ、大変有効なことだと思います。私自身は学生さんたちを拝見して良い授業だという風な感想を持ちましたので、ここで申し上げたいと思います。

それから1回につき1,000円の謝礼という形になっているとのことですが、この金額というのはどういった形で決められているのでしょうか。今、世間的に割と賃金が上がっている傾向がある一方で、市の財政状況は厳しい状況であると思いますが、謝礼が高い安いという意味ではなくて、今後どのような方向に向うのでしょうか。

松田学校教育課長

1回1,000円というのは、教育支援ボランティアということで、あくまでボランティアとして協力をしていただいているので、学生さんが移動手段等で多少交通費がかかるという意味での1,000円ということになっており、これは概ね多くの市町村が同様な事業を行っていますけども交通費等も含めまして1回1,000円でという形で実施されております。

原委員

概ね交通費のようなものなのですね。

松田学校教育課長

はい。

原委員

わかりました。

小林教育長

他にはないでしょうか。

それでは原案のとおり決定するということによろしいでしょうか。

原案のとおり決定いたしました。

【原案どおり決定】

(教育委員会承認)

小林教育長

続いて報告に入ります。

報告 第10号 平成29年度決算審査について 資料に基づきまして、星野総務課長より説明をお願いします。

(星野総務課長より資料に沿って説明)

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

よろしいでしょうか。

では、確認をいたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

小林教育長

報告 第11号 平成30年度総合教育視察の結果について 資料に基づきまして、松田学校課長より説明をお願いします。

小林教育長

説明が終わりました。これより質疑に入ります。ご意見、ご質問等ありませんか。

堀委員

私は教育視察で甲府商業に行かせていただきまして、報告にもあるように、教室の床にお菓子の袋が置いてある光景を見ました。しかし、実はお菓子の袋だけではなく教科書も置いてありました。商科専門学校の報告書を見させていただくと、やはり床に教科書が置いてあるという報告があります。私が視察をさせていただいた小中学校では床に教科書が置いてあったところはなかったのですが、私達が子どもの頃は教科書を大事にするようにとずっと言われてきた中で、甲府商業と甲府商科専門学校でそのようなことがあったということは、そういったことに対する指導体制というものが昔に比べて薄らいでいるのではないかということを感じましたので、今後さらにご指導していただければと思いましたので意見として言わせていただきました。以上です。

松田学校教育課長

おそらく机の上の作業とか色々な事情があったのかと思いますが、委員さんのお話のとおり教

科書は学習する上で一番大切な教材ですので、そういったものへの思いというようなものを小中学校も含めて今後も指導していきたいと思います。

堀委員

よろしく願いいたします。

小林教育長

他にないかありますでしょうか。

原委員

今の話の続きになりますけど、私が行きました小中学校では報告載っているように、教科書を床に置いていたところがあったので、教科書を大切にするという思いの指導をしていただきたいと思います。それと先生もそれを見逃すというのも少し問題なのかなと思いますので、合わせて指導をよろしく願います。それからもう一点よろしいでしょうか。甲府商業なのですが、報告の中で死角が多く防犯カメラの設置を検討したいとありますが、一昨年私は甲府商業に行かせていただきまして、やはり同じ様なことを書かせていただいたのですが、今年もそのまま同じ様な状況のようなので、防犯カメラの設置についての今後の予定がわかるのであれば教えていただきたいです。

本田甲府商業事務長

昨年確かに指摘をしていただきましたので、私どもで検討してまいりました。甲府商業に来ていただけるとわかるのですが、正門から事務室までかなりの距離があります。思ったより費用がたくさんかかるということと、他の事業等も色々あるため予算がどうしてもそちらの方に回りませんでした。今後につきましては、重要なものですので引き続き予算がつけられるように考えていきたいと思っています。

原委員

防犯という意味もあるのですが、先生方が時間毎に巡回したりしていてかなりマンパワーがそのことに使われているという状況があるということ去年伺いましたので、防犯カメラを導入することで少しでも先生方の負担が減れば良いかなと思いますので、よろしく願います。

小林教育長

他にはないでしょうか。

それでは確認いたしました。

【原案どおり確認】

(教育委員会確認)

3 閉会

小林教育長

それではこれもちまして、8月定例教育委員会を閉会します。